

9. 医学群

(1) 医学類

専門基礎科目(医学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB11411	生物学I	1	1.0	1	春AB	木6	共同利用棟 B203	中村 幸治	遺伝の法則を発見したメンデルの実験の進め方、メンデルの法則に細胞学的基礎を与えた染色体と遺伝の関係を解説する。生命現象の根幹をなす遺伝現象を分子レベルで把握することを主眼とし、遺伝子の構造、DNAの複製、転写、翻訳、遺伝子発現の調節機構について概説する。	高校で生物学を選択しなかった者は、自習して授業に臨むこと。
HB11421	生物学II	1	1.0	1	秋C	金1,2	共同利用棟 B203	本多 正尚, 大網 一則, 守野 孔明	生物の進化の基本的な考え方、系統学と分類学の概念と応用について概説する。また、比較生物学的な見地から動物の体を理解するために、消化吸収系、循環系、内分泌系、発生生殖などの系統進化的な側面について概説する。	高校で生物学を選択しなかった者は、自習して授業に臨むこと。
HB11513	生物・化学実験	3	1.0	1	春AB	金3-5		設楽 宗孝, 工藤 崇	生物学および化学実験の中から医学と関連するものを選び、実験を行う。出席およびレポートにより成績を評価する。	
	(化学実験)	3	-	-	春AB	金3-5		中村 貴志, 山崎 信哉, 千葉 湧介	基礎的な化学実験技術の修得を目的とし、化学分析(酸塩基、酸化還元、キレート)、反応速度、有機合成、分子模型などの中から課題を取り上げる。	
	(生物学実験)	3	-	-	春AB	金3-5		宮村 新一, 澤村 京一, 大網 一則, 丸尾 文昭	生物の構造と機能を知るための基礎的実験を行い、生物実験の基礎技術及び生物科学的思考法を養う。身近にあっても気づきにくい多様な生物の世界を再認識する。	
HB11612	Clinical Communication in English I	2	0.5	2	春AB	水1	4A304	宮増 フラミニア	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this first part of the course, students will learn to conduct history-taking interviews in English. Aspects of the interview will include greeting the patient, taking the history of the present illness, and conducting a review of systems. To consolidate learning, students will practice interviewing through role-plays.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象
HB11622	Clinical Communication in English I	2	0.5	2	春AB	水1	4B101	メイヤーズ トーマス デイヴィッド	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this first part of the course, students will learn to conduct history-taking interviews in English. Aspects of the interview will include greeting the patient, taking the history of the present illness, and conducting a review of systems. To consolidate learning, students will practice interviewing through role-plays.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象
HB11632	Clinical Communication in English I	2	0.5	2	春AB	水1	共同利用棟 B202	マティス ブライアン ジェームズ	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this first part of the course, students will learn to conduct history-taking interviews in English. Aspects of the interview will include greeting the patient, taking the history of the present illness, and gathering background information. To consolidate learning, students will practice interviewing through role-plays.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象
HB11642	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋ABC	水1	4A304	マティス ブライアン ジェームズ, 宮増 フラミニア, メイヤーズ トーマス デイヴィッド	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through the following 5-week modules taught by 3 different instructors: Module 1 Explaining a Diagnosis; Module 2 Taking a Physical Exam; Module 3 Reading and Writing SOAP notes.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象
HB11652	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋ABC	水1	4B101	マティス ブライアン ジェームズ, 宮増 フラミニア, メイヤーズ トーマス デイヴィッド	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through the following 5-week modules taught by 3 different instructors: Module 1 Explaining a Diagnosis; Module 2 Taking a Physical Exam; Module 3 Reading and Writing SOAP notes.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB11662	Clinical Communication in English II	2	1.0	2	秋ABC	水1	共同利用棟 B202	マティス ブライアン ジェームズ、宮増 フラミニア、メイヤーズ トーマス デイヴィッド	The aim of the Clinical Communication in English course is to equip students with the communicative skills they will need to function in English-language clinical settings. In this second part of the course, students will rotate through the following 5-week modules taught by 3 different instructors: Module 1 Explaining a Diagnosis; Module 2 Taking a Physical Exam; Module 3 Reading and Writing SOAP notes.	英語で授業。 G科目 平成29年度以降入学者対象

基礎科目関連科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB21101	医学のための心の科学	1	1.0	1	秋C	水3, 4	共同利用棟 B203	斎藤 環, 森田 展彰, 大谷 保和	医師として必要な心理学の知識を提供する。面接のしかた、心理検査の方法と応用、ストレスの評価とコントロール、こころと体の関係、患者と家族との関係、人間の精神発達、心理的背景をもつ問題(ひきこもり、自殺、児童虐待、アディクション、PTSDなど)などを学ぶ。	
HB21141	行動生理学の基礎	1	1.0	1	春BC	木3	2B411	櫻井 武	動物の行動制御の観点からシステムとしての神経系機能の役割とその作動メカニズムを比較的最近の研究成果をまじえて解説する。大脳皮質と高次機能、大脳辺縁系と情動、大脳基底核と運動、報酬系、摂食行動の制御機構、睡眠覚醒の生理に関して概説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21151	海外プロジェクト概論(ロシア語圏)	1	1.0	1-6	秋学期	集中		ツィガルニツカヤ エレナ	ロシア語圏諸国の医科大学や医療機関、研究機関等を訪問し、訪問先の言語・文化・社会・医療制度への理解を深め、将来のキャリア形成に役立てる。受講者には国内外での発表が課せられる。	9/1-2/28, 3/1-3/31 詳細後日告知
HB21161	放射線と生命—人体への影響と医療への貢献—	1	1.0	1	秋AB	月1	5C407	櫻井 英幸	1895年にレントゲンがエックス線を発見して以来、放射線が引き起こす物理的および生物学的現象について様々な研究が行われてきた。同時に、放射線を利用することで医学は急速に進歩し、今や医療に放射線は不可欠な存在である。本科目では、「放射線とは何か」から出発し、まずその物理的な特質や相互作用とともに、生物学的効果につき解説する。さらに、福島原発事故以来注目を集めている生活環境での人体への放射線の影響について述べる。後半では、様々な放射線をどのように作り出して利用しているのかを述べ、近年目覚ましい発展を遂げている放射線診断やがん放射線治療において、放射線はどのように利用され医療に貢献しているのかを解説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21171	神経回路研究の最前線	1	1.0	1	秋AB	月1	5C213	榎 正幸	私たちの脳活動の基礎となる神経回路がどのように作られ、どのように働くのかを、新しい研究成果も含めて概説する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21181	日常生活の中で見られる神経筋疾患	1	1.0	1	秋AB	月2	5C213	玉岡 晃	高齢化社会を迎えてアルツハイマー病やパーキンソン病などの神経変性疾患は益々増加しつつある。本講義では日常生活の中で見られる頻度の高い神経筋疾患について概説するとともに、神経症候が如何にして生じてくるかに関して平易に説明する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21191	臨床感覚器学	1	1.0	1	秋AB	月2	2B411	和田 哲郎	講義担当の教員は耳鼻咽喉科の医師である。種々の感覚(聴覚・平衡覚・嗅覚・味覚など)にスポットを当て、それぞれの感覚をどのように感じていたのかを学ぶ。感覚器の構造・機能を理解し、それらが失われたときの状態について理解を深める。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21201	形成外科学入門	1	1.0	1	秋AB	月1	臨床講義室A	関堂 充	形成外科とは体表の異常、変形、機能を扱う外科である。再建外科・美容外科もその一分野である。人間にとって外観の変形は重要な問題であり、精神状況、社会生活にも大きな影響を及ぼす。当講座では先天異常、外傷、手術などによる変形、欠損、美容的な修正などにつき臨床例とともに講義する。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21211	医科生化学	1	2.0	1	春BC	火1, 2	5C506	久武幸司 他, 入江賢児, 福田 綾, 榎和子, 塩見 健輔	生体物質の構造、性質、代謝を知ることによって人体がどのような物質から成り立っているのかを理解させる。また、それらの物質が生体システムの中でのどのような働きをし、それがどのように制御されることによって正常な生命現象が営まれているのかを教授する。同時に様々な病態の生化学的理解を深める。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB21221	医科分子生物学	1	2.0	1	秋AB	火1, 2	5C407	西村健 他	遺伝子の構造と機能の基本について教授し、生命現象を遺伝子・分子に基づいて理解させる。	【受入上限数220名】 専門導入科目(事前登録対象)
HB31131	基礎医学研究の最前線	1	1.0	1	春AB	月2	臨床講義室A	設楽宗孝 工藤崇他	筑波大学における最先端の基礎医学研究の実際について学び、その意義と重要性を考える。	【受入上限数180名】 専門導入科目(事前登録対象)

専門科目(医学対象)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB31102	医学の基礎	2	11.0	1		集中	共同利用棟 B203	設楽宗孝 工藤崇他	生化学、組織学、分子細胞生物学、感染生物学、免疫学、生理学などの基礎をPBLテュートリアル形式で学ぶとともに、3年次の機能・構造と病態コースでの横断的・統合的な学習に必要な自習能力をつける。	10/1-2/28の間に実施、9/1-9/30の間に実施
	(生化学)	2	-	-	夏季休業中	集中		入江賢児 久武幸司 他	種々の疾患の成因と発症に至る病態生理について理論的に理解し、診断・治療・予防への応用を自ら考察できる高い問題解決能力を修得するために、人体を構成する基本物質の化学構造と、生体内でおこる物質の素反応を理解し、代表的な代謝経路と生体エネルギー産生の調節機構を理解する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
	(組織学)	2	-	-	夏季休業中	集中		高橋智 千葉滋 他	臨床実習前の教育として、医学の専門家となるのに必要な組織の観察法、発生学の基礎知識、細胞の基礎知識を身につけるとともに組織構築と機能の関係について学習する。また人体構造についての概要を学習する。	
	(分子細胞生物学)	2	-	-	秋AB	集中		入江賢児 久武幸司 他	ヒトの発育や環境の変化に対応した生命活動の理解のために、遺伝子の構造と遺伝子発現機構、細胞を維持・制御するしくみについて学ぶ。	
	(感染生物学)	2	-	-	秋BC	集中		宮腰昌利 川口敦史 他	感染症の診断・治療・予防の基本的考え方を身につけるために、主な病原体の生物学とヒトに起こす病態について理解する。	
	(免疫学)	2	-	-	秋BC	集中		渋谷彰 他	医学の専門家となるための必要な情報マネジメント、批判的考察や研究などの基本を身につけ、免疫学の科学的基礎を理解する。	
	(生理学)	2	-	-	秋C	集中		設楽宗孝 他	神経細胞の興奮とシナプス伝達の機序を学び、神経系の情報処理機能の理解に必要な基礎知識を身につける。また、身体各部の機能及び、それを調節する神経系の基礎を学び、種々の病態を生体の生理的機能から理解するのに必要な能力を養う。	
HB31111	医学統計学	1	2.0	1	秋A 秋学期	火3,4 集中	共同利用棟 B203	五所 正彦,丸尾和司	1. 統計学の基礎概念を理解し、医学的問題への応用方法を習得する。 2. 医学・生物学に起因する統計学上の問題と、その特徴を理解する。 3. 医学データの収集方法、統計解析手法の基本を習得する。	平成30年度以前入学者対象 詳細後日周知
HB31122	医療概論I	2	2.0	1	春AB	水3,4 木4,5		大原信 斎藤環 高屋敷明由美 他	人間としての規範、社会人としての規範に基づき、将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習する態度を身につけるために、医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場を配慮することの重要性を、講義、PBL、テュートリアル、レポート作成を通して学ぶ。	
HB31123	医療・福祉現場でのふれあい等	3	2.0	1	春ABC	集中	附属病院 他	大原信 斎藤環 他	医療現場(附属病院、介護老人保健施設等)での患者さんの身の回りの世話や介護、附属病院施設等見学、高齢者・妊婦疑似体験実習等を通して医療現場での実際を早期に体験する。 医療現場における医療者としてのマナー(服装、個人情報保護等)を学ぶ。	春AB(火5,6,7実施)、春C(火、水、金)院外・病院実習計3日間4/11-7/31の間に実施 ODP
HB31141	医学統計学	1	1.0	1	秋A	火3,4	共同利用棟 B203	五所 正彦,丸尾和司	1. 統計学の基礎概念を理解し、医学的問題への応用方法を習得する。 2. 医学・生物学に起因する統計学上の問題と、その特徴を理解する。 3. 医学データの収集方法、統計解析手法の基本を習得する。	平成31年度以降入学者対象
HB32127	機能・構造と病態I	7	27.0	2	通年	集中	共同利用棟 B202	武井陽介 兵頭一之介 他	人体解剖実習を行うとともに、消化器系、循環器系、神経系、呼吸器系など、基礎から臨床、社会までPBL、テュートリアル形式で横断的・統合的な学習を行う。	4/11-2/28の間に実施
	(病理学)	7	-	-	春A	集中		加藤光保 他	代表的な病気の本態や死に至る経過を個体のレベルで理解できるようになるために、剖検症例の病理所見を観察し、病気を各臓器・組織の形態変化として記述できるようになるとともに、病変相互の関係について説明できるようになる。また、形態変化の背景にある細胞や分子の機能とその異常について想起し、分子レベルの現象と組織レベルの現象を統合して理解できる能力を修得する。	
	(薬理学)	7	-	-	春A	集中		榎正幸 他	臨床の様々な場面で用いられる薬物の作用機構を通して生体の生理的機能や様々な病態を理解するとともに薬物の作用や副作用について学ぶ。	
	(解剖)	7	-	-	春AB	集中		武井 陽介,増田知之,首藤 文洋,濱田 理人,佐々木哲也	人体を構成する骨格、筋、脈管および神経について各系統ごとに総論的に学習し、その正確な知識に基づいて運動器や感覚器の構造と機能を理解する。さらに胸部内臓、腹部内臓および骨盤内臓の外景と臓器間相互の空間的位置関係、ならびに臓器に分布する血管と神経の走行を明らかにし、内臓支配に関する脈管および神経系の基本構成と各種臓器の構造と機能を各論的に理解する。	
	(臨床基礎)	7	-	-	夏季休業中	集中		武井陽介 兵頭一之介 他	2年次から3年次にかけて履修する臨床系コースの習得の基盤として、「臨床検査の基礎」「人類遺伝学」「画像の成り立ちと画像解剖の基礎」「放射線腫瘍学の基礎」について学習する。	
	(消化系)	7	-	-	夏季休業中	集中		小田竜也 兵頭一之介 他	消化器の正常の機能と構造を、生理、病理的な側面をふまえ、消化器疾患の病態について総合的に理解し、これらの基本理解のもとに診断・治療・予防についての臨床基礎技能を学習する。	
	(循環系)	7	-	-	秋A	集中		家田真樹 平松祐司 他	循環器病の診断・治療・予防について十分に理解するために、心血管系の構造と機能を深く学んだ上で、循環器各疾患の病態を包括的に学び、理解する。	
	(神経系)	7	-	-	秋B	集中		松村明 玉岡晃 他	神経疾患に罹患した患者の基本的診断ができるようになるために、神経系の正常構造と機能、主な神経系疾患の病態生理、病理、病因、症候、検査、診断と治療を理解し、基本的な神経診察ができ、神経疾患患者の社会支援システムの概略を把握する。	
	(呼吸系)	7	-	-	秋BC	集中		檜澤伸之 佐藤幸夫 他	呼吸系の病的状態を把握するために呼吸器の正常構造と生理学を理解する。呼吸器疾患における診断・治療の理論的根拠を理解するために、呼吸器の病理学・病態生理学・薬理学を学ぶ。それらの学習と平行して、呼吸器疾患の実際の診断法・治療法の実践を学習する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
	(内分泌・代謝系)	7	-	-	秋C	集中		島野仁 原尚人 他	内分泌代謝疾患と糖尿病の患者に適切に対応できるようになるために、内分泌の組織の発生・解剖・機能、糖脂質代謝に関する生化学、ホルモンの生理機構とホルモン異常の病態の理解に基づいて、内分泌代謝疾患・糖尿病疾患の病態生理・診断・治療・予防の基本を習得する。	
HB32137	医療概論II	7	2.0	2	通年	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美、宮増フラミニア	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の学習進度に合わせて、在宅ケア、職種間連携、行動科学、プロフェッショナルリズム、医学英語の基礎について学ぶ。	平成28年度以前入学者対象 7/3-2/14 CDP
	(在宅ケア)	7	-	-	春C夏季休業中	集中		前野哲博、高屋敷明由美 他	地域を支える生活の場における医療の実際をテーマにPBLテュートリアル方式で学ぶとともに、我が国の地域医療が直面する課題を理解する。	7月は講義・演習・実習、8月は実習を行う。 7/3-8/31 CDP
	(行動科学入門)	7	-	-	春C	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美 他	人の心の発達を理解し、自身の成長段階を自覚し、セルフケアについて学ぶ。	7/3-7/11 CDP
	(プロフェッショナルリズム)	7	-	-	春C	集中		高屋敷 明由美	医師のプロフェッショナルリズムを理解して、医学生としての行動規範を作成する。	7/10 CDP
	(職種間連携)	7	-	-	秋C	集中		前野哲博、春田淳志、前野貴美、高屋敷明由美 他	茨城県立医療大学保健医療福祉学部2年生との合同のTeam Based Learning方式の学習で、多職種の理解を深め、体験からチームへ貢献することの意義を理解する。	1/14 CDP
	(English Medical Terminology)	7	-	-	秋ABC	火2		宮増 フラミニア	医学英語の基本用語を修得する。	不定期 英語で授業。 CDP
HB32147	医療概論II	7	3.0	2	通年	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美、宮増フラミニア	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の学習進度に合わせて、在宅ケア、職種間連携、行動科学、プロフェッショナルリズム、医学英語の基礎について学ぶ。	平成29年度から平成30年度入学者対象 7/3-2/14 CDP
	(在宅ケア)	7	-	-	春C夏季休業中	集中		前野哲博、高屋敷明由美 他	地域を支える生活の場における医療の実際をテーマにPBLテュートリアル方式で学ぶとともに、我が国の地域医療が直面する課題を理解する。	7月は講義・演習・実習、8月は実習を行う。 7/3-8/31 CDP
	(行動科学入門)	7	-	-	春C	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美 他	人の心の発達を理解し、自身の成長段階を自覚し、セルフケアについて学ぶ。	7/3-7/11 CDP
	(プロフェッショナルリズム)	7	-	-	春C	集中		高屋敷 明由美	医師のプロフェッショナルリズムを理解して、医学生としての行動規範を作成する。	7/10 CDP
	(職種間連携)	7	-	-	秋C	集中		前野哲博、春田淳志、前野貴美、高屋敷明由美 他	茨城県立医療大学保健福祉学部2年生との合同のTeam Based Learning方式の学習で、他職種の理解を深め、体験からチームへ貢献することの意義を理解する。	1/14 CDP
	(English Medical Terminology)	7	-	-	秋ABC	火2		宮増 フラミニア	医学英語の基本用語を修得する。	不定期 英語で授業。 CDP
HB32157	医療概論II	7	2.0	2					全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の学習進度に合わせて、在宅ケア、職種間連携、行動科学、プロフェッショナルリズム、医学英語の基礎について学ぶ。	平成31年度以降入学者対象 2019年度開講せず。 CDP 2020年度より開講
	(在宅ケア)	7	-	-					地域を支える生活の場における医療の実際をテーマにPBLテュートリアル方式で学ぶとともに、我が国の地域医療が直面する課題を理解する。	平成31年度以降入学者対象 2019年度開講せず。 CDP 6・7月は講義・演習、8月は実習を行う。
	(行動科学入門)	7	-	-					人の心の発達を理解し、自身の成長段階を自覚し、セルフケアについて学ぶ。	平成31年度以降入学者対象 2019年度開講せず。 CDP
	(プロフェッショナルリズム)	7	-	-					医師のプロフェッショナルリズムを理解して、医学生としての行動規範を作成する。	平成31年度以降入学者対象 2019年度開講せず。 CDP
	(職種間連携)	7	-	-					茨城県立医療大学保健福祉学部2年生との合同のTeam Based Learning方式の学習で、他職種の理解を深め、体験からチームへ貢献することの意義を理解する。	平成31年度以降入学者対象 2019年度開講せず。 CDP
HB32227	医学の基礎B	7	6.0	2	通年	月・木1,2		武井陽介 兵頭一之介 他	医学の基礎となる、生理学、薬理学、組織学、病理学、生化学、分子細胞生物学、免疫学について提示された課題などを中心に演習によってヒトの構造、機能の基礎を学ぶ。	2年次編入学者に限る。(月1.2,木1.2実施)
HB33127	機能・構造と病態II	7	37.0	3	通年	集中	臨床講義室D	新井 哲明 我妻ゆき子 他	機能・構造と病態IIに引き続き、腎・泌尿系、免疫・アレルギーなど、基礎から臨床、社会までをPBLテュートリアル形式で横断的・統合的な学習を行う。	4/11-2/28の間に実施
	(感覚系)	7	-	-	春A	集中		大鹿哲郎 和田哲郎 他	感覚器障害を持つ患者さんに適切なアプローチができるようになるために、感覚器機能の正常と異常を理解し、診療に必要な基本的な知識・技能・態度を修得する。	

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
	(血液系)	7	-	-	春A	集中		千葉滋 他	造血の仕組み、血球の機能、血漿タンパクの役割を理解し、これらの知識に基づいて血液疾患の病態を解析する能力を養う。治療法についても理解を深める。	
	(免疫・アレルギー系)	7	-	-	春A	集中		住田孝之 松本功 他	全身性自己免疫疾患の発症機序の概略を理解し、診察、診断、治療のために必要な基礎知識と考え方を身につける。	
	(生殖系)	7	-	-	春B	集中		西山博之 佐藤豊 実 他	ヒトの性・生殖系の病態生理を把握し、臨床実習で十分な成果をあげるために、まず男女生殖器系(含む乳腺)の正常と異常を理解し、その異常がヒトに及ぼす影響を考察できるようにする。	
	(歯と口腔疾患)	7	-	-	春B	集中		武川寛樹 他	歯と口腔の構造・機能・口腔疾患を学び、医科歯科連携をとれる知識を身につける。口腔内診査と口腔衛生の実習を行う。	
	(妊娠と分娩)	7	-	-	春B	集中		濱田洋実 小島真奈 八木洋也 他	ヒトの妊娠、分娩、産褥の各ステージの正常経過を理解するとともに、その異常が母児に与える影響について考察し、解決法を学ぶ。	
	(小児の成長・発達と疾患)	7	-	-	夏季休業中	集中		高田英俊 増本幸二 他	小児の正常な成長発達を理解するとともに、成長発達障害の発症機序とその病態を理解する。	
	(皮膚・形成系)	7	-	-	夏季休業中	集中		藤澤康弘 関堂 充 他	皮膚科・形成外科患者の基本的診療が行えるようになるために、皮膚の正常構造と機能を説明し、さらに基本的な皮疹、身体所見の記載ができ、主要な皮膚/形成外科疾患の病態生理・症候・病理組織・診断・治療の基本を理解する。形成外科治療における創傷治療・手術治療を理解する。	
	(腎・泌尿系)	7	-	-	秋A	集中		山縣邦弘 西山博之 他	腎・泌尿器系の臨床実習を円滑に行うため、腎泌尿器系の発生、構造、機能および生体内環境の調節を学習し、腎・泌尿器系疾患の疫学、病因、病態(生理、生化学、病理形態)、診断方法を統合的に理解し、修得する。	
	(精神系)	7	-	-	秋AB	集中		新井哲明 斎藤環 他	精神医学と精神医療の概要を理解し、必要な知識、技能、態度を習得する。	
	(麻酔・救急)	7	-	-	秋B	集中		田中誠 井上貴昭 他	周術期、および重症患者の全身管理を理解するために、呼吸・循環・代謝管理及び麻酔・麻酔薬の基礎知識を習得する。中毒学の基礎を理解するために、中毒患者の病態の基礎知識を習得する。救急医学の基礎を理解するために、救急患者の病態生理の基礎知識を習得する。	
	(腫瘍学総論)	7	-	-	秋B	集中		野口雅之 櫻井英幸 関根郁夫 他	腫瘍の人間への影響を知り、その対応を理解するために、剖検例における臨床経過、死因、腫瘍の状態を検討する。	
	(運動系)	7	-	-	秋C	集中		山崎正志 他	QOLにおける運動器の重要性を理解するために、運動器の構造、損傷、障害、疾病およびその治療法とリハビリテーションを修得する。	
	(社会医学)	7	-	-	秋C	集中		近藤正英 柳久子 笹原信一朗 他	社会に対する医療の関わりという観点から医学を学ぶ。 (1)日本の社会保障制度の根幹である保健・医療・福祉・介護制度を理解し、医療提供者やサービスを受ける側、行政側など多面的な視点から、把握分析する能力を、チュートリアルを用いた自主学習を通して高める。 (2)人を取り巻くさまざまな環境を理解し、疾病の成因とその予防、およびその研究方法の基本を習得する。人類集団の遺伝的多様性と疾患感受性との関連を理解し、医学・医療への応用を考える。 (3)また人間の死に臨み、あるいは死体に直面した時、医師として法や倫理に従った正当かつ適切な対応ができるように、病死、突然死、外因死などを科学的に究明し、正しく判断できる技能や技術を習得する。	
HB33137	医療概論III	7	2.0	3	通年	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美、宮増フラミニア	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の教育進度に合わせて、ヘルスロモーション、行動科学、職種間連携、医学英語の基礎について学ぶ。	平成28年度以前入学者対象 4/11-2/28の間に実施
	(地域ヘルスプロモーション/行動医療学)	7	-	-	春C秋ABC	集中		前野哲博 高屋敷明由美 春田淳志 他	生活習慣病予防について、行動科学の理論に基づく個人・集団に対するセルフケア支援および健康教育を学び、実際に体験する。	7月に講義・演習、秋学期に実習1日を行う。 7/8-2/28
	(ケア・コロキウム/チームワーク演習)	7	-	-	秋B	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美	職種間連携を行うことのできる医療人になるために、医学群3学類および東京理科大学薬学部学生と合同で、職種間連携、チームワークをテーマにした演習を行う。	12/2-12/6
	(English Medical Terminology2)	7	-	-	通年	木1		宮増 フラミニア	医学英語の基本用語を修得する。	不定期 英語で授業。
HB33147	医療概論III	7	5.0	3	通年	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美、宮増フラミニア	全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の教育進度に合わせて、ヘルスプロモーション、行動科学、職種間連携、医学英語の基礎について学ぶ。	平成29年度から平成30年度入学者対象 4/11-2/28の間に実施
	(地域ヘルスプロモーション/行動医療学)	7	-	-	春C秋ABC	集中		前野哲博 高屋敷明由美 春田淳志 他	生活習慣病予防について、行動科学の理論に基づく個人・集団に対するセルフケア支援及び健康教育を学び、実際に体験する。	7月に講義・演習、秋学期に実習1日を行う。 7/8-2/28
	(ケア・コロキウム/チームワーク演習)	7	-	-	秋B	集中		前野哲博、前野貴美、高屋敷明由美	職種間連携を行うことのできる医療人になるために、医学群3学類及び東京理科大学薬学部学生と合同で、職種間連携、チームワークをテーマにした演習を行う。	12/2-12/6
	(English Medical Terminology2)	7	-	-	通年	木1		宮増 フラミニア	医学英語の基本用語を修得する。	不定期 英語で授業。

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB33157	医療概論III	7	3.0	3					全人的医療を提供できる医療人に求められる能力について包括的に学ぶ。本科目では医学類の教育進度に合わせて、ヘルスプロモーション、行動科学、職種間連携、医学英語の基礎について学ぶ。	平成31年度以降入学対象。2021年度より開講。2019年度開講せず。
	(地域ヘルスプロモーション/行動医療学)	7	-	-					生活習慣病予防について、行動科学の理論に基づく個人・集団に対するセルフケア支援及び健康教育を学び、実際に体験する。	7月に講義・演習、秋学期に実習を1日を行う。2019年度開講せず。
	(ケア・コロキウム/チームワーク演習)	7	-	-					職種間連携の行うことのできる医療人になるために、医学群3学類および東京理科大学薬学部学生と合同で、職種間連携、チームワークをテーマにした演習を行う。	2019年度開講せず。
HB34113	医療概論IV	3	2.0	4	春学期	集中	臨床講義室C他	前野哲博 他	クリニカル・クラークシップの臨床実習に備えて、患者さんとのコミュニケーションのとり方、守秘義務、医療安全等、医師としての基本知識、態度、技術、義務を学ぶ。また、基礎医学、臨床医学等の最先端分野を学ぶ。	4/11-9/30の間に実施
	(Pre-CG準備教育)	3	-	-	春学期	集中		前野 哲博、高屋敷 明由美、濱野 淳 他	クリニカル・クラークシップの臨床実習に備えて、患者さんとのコミュニケーションのとり方、インフォームドコンセント(医療面接3(IC))、守秘義務、医療安全、プロフェッショナリズム等、医師としてのモラル、臨床倫理について、基本知識、態度、技術を学ぶ。	4/11-7/31の間に実施、8/1-8/31の間に実施
	(アドヴァンストコース)	3	-	-	春C	集中		玉岡晃 佐藤幸夫 他	基礎医学、臨床医学の学際的な話題について最新情報を交えて深く学ぶ。	
HB34147	クリニカル・クラークシップ準備学習	7	18.0	4	春ABC	集中	臨床講義室C他	玉岡晃 佐藤幸夫 他	クリニカル・クラークシップの前提となる知識・技術・態度・価値観などを学ぶ。	4/11-8/31の間に実施
	(小括講義)	7	-	-	春AB	集中		玉岡晃 佐藤幸夫 他	テュートリアルで取り上げなかった事項や基本的な重要事項について専門分野ごとに講義を行い、臨床実習に向けて医学知識の習得をはかる。	
	(症候・病態からのアプローチ)	7	-	-	春AB	集中		玉岡晃 佐藤幸夫 他	臨床推論のためのアプローチの基本のとり、症例のシナリオを用いて症候、病態を踏まえた鑑別診断のスキルを修得する。	
	(診察法演習)	7	-	-	春C	集中		前野哲博 他	診察のための基本的手技を修得する。診断学のテキストやビデオを活用して(少人数グループの)演習によりクリニカル・クラークシップに備える。	
	(Pre-CC)	7	-	-	春AB	集中		玉岡晃 佐藤幸夫 他	病院医療システムやチーム医療の意義を理解し、基本的臨床検査の手法、一次治療となる臨床基本手技の習得や検査結果の解釈、臨床研究のプロトコール作成を学んでクリニカル・クラークシップの臨床実習に備える。	
HB34153	社会医学実習	3	2.0	4	春B	集中		我妻ゆき子 田宮 菜奈子 他	公衆衛生活動における疫学的アプローチや解析手法、精神保健、産業保健、環境保健、食品衛生および保健・医療・福祉の連携や、公衆衛生行政における医師の役割等を学ぶ。また実験を通じて社会医学に関する具体的な測定法などを学ぶ。	4/1-8/31の間に実施
HB34163	M4クリニカル・クラークシップ(Phase IA)	3	11.0	4	通年	集中		玉岡晃 佐藤幸夫 他	4年次に行うクリニカル・クラークシップ。学生は、内科、外科、麻酔・救急、小児科、産婦人科、精神科、形成外科、口腔外科、病理の臨床実習をクリニカル・クラークシップ方式で行う。学生は医療チームの一員として日常の診療に加わり、診療活動を通してチーム医療、コミュニケーションのとり方、診察技法、カルテ記載、治療計画の立て方、治療法、疾患の概要、プレゼンテーションの仕方、医師としてのあり方等を学ぶ。	10/1-3/31
	(CPC)	3	-	-	通年	集中		野口雅之 他	病院で死亡した症例について、臨床経過、検査結果、病理解剖所見を総合的に解析、討議し、臨床診断の確認、治療効果の判定、死に至った理由、などを明らかにする。	
HB35153	M5クリニカル・クラークシップ(Phase IB、Phase IIA)	3	22.0	5	通年	集中		井上貴昭、小田竜也 他	5年次に行うクリニカル・クラークシップ。	4/1-3/31
	(Phase IB)	3	-	-	通年	集中		井上貴昭、小田竜也 他	学生は、Phase IAの続きとして残りの診療科の臨床実習をクリニカル・クラークシップ方式で行う。学生は医療チームの一員として日常の診療に加わり、診療活動を通してチーム医療、コミュニケーションのとり方、診察技法、カルテ記載、治療計画の立て方、治療法、疾患の概要、プレゼンテーションの仕方、医師としてのあり方等を学ぶ。	4/1-3/31
	(Phase IIA)	3	-	-	通年	集中		井上貴昭、小田竜也 他	学生は、乳腺外科、放射線診断、放射線治療、皮膚科、眼科、耳鼻科の他、興味のある診療科を選んでクリニカル・クラークシップ方式での臨床実習を行う。学生は医療チームの一員として日常の診療に加わり、診療活動を通してチーム医療、コミュニケーションのとり方、診察技法、カルテ記載、治療計画の立て方、治療法、疾患の概要、プレゼンテーションの仕方、医師としてのあり方等を学ぶ。	新医学専攻の学生は一部だけ履修する。
	(研究室実習)	3	-	-	秋ABC	集中		高橋智 他	医学に関する専門分野の研究室へ行き、実際の研究を体験することにより、医学研究の進め方を身につける。また、実地体験に基づいて教員と議論を深め、医学研究の考え方を習得する。	新医学専攻対象

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB36151	医学総括	1	10.0	6	通年	集中	臨床講義室B	山縣邦弘 檜澤伸之 他	医学群総合カリキュラムの最終段階として既習得の知識と技能を改めて総合的に整理し総括する。これにより医師として必要な基本的臨床能力及び基礎的研究能力を身につける。	7/1-12/31の間実施
	(運動器臨床)	1	-	-	春C	集中		山崎正志 他	運動器疾患の重要性、治療方法について学ぶ。	
	(眼系臨床)	1	-	-	春C	集中		大鹿哲郎 他	医学群総合カリキュラムの最終段階として既習得の知識と技能を改めて総合的に整理し総括する。これにより医師として必要な基本的臨床能力及び基礎的な研究能力を身につける。	
	(耳鼻咽喉系臨床)	1	-	-	春C	集中		和田哲郎 他	医師として必須の耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域の知識および能力を身につける。	
	(皮膚系臨床)	1	-	-	春C	集中		藤澤康弘 他	医師として必須の皮膚科領域の知識および能力を身につける。	
	(精神臨床)	1	-	-	春C	集中		新井哲明 斎藤環 他	今日の精神医学に関する基礎知識を修得すると共に、近年の脳科学の臨床応用も身につける。	
	(呼吸系臨床)	1	-	-	春C	集中		檜澤伸之 佐藤幸夫 他	呼吸器疾患の病態、診断、治療について学ぶ。	
	(循環系臨床)	1	-	-	春C	集中		家田真樹 平松祐司 他	臨床において自ら治療にあたるのが出来、自ら研究立案と実行を行える程度までに研究能力を身につける。	
	(消化系臨床)	1	-	-	春C	集中		兵頭一之介 小田竜也 他	消化器疾患の病態理解に立脚した診断と治療を整理し総括する。	
	(血液系臨床)	1	-	-	夏季休業中	集中		千葉滋 長谷川雄一 他	医学群総合カリキュラムの最終段階として既習得の知識と技能を改めて総合的に整理し総括する。これにより医師として必要な基本的臨床能力及び基礎的な研究能力を身につける。	
	(自己免疫系臨床)	1	-	-	夏季休業中	集中		住田孝之 他	関節リウマチ、膠原病などの自己免疫病の発症機序・病態から診断・最新治療について理解する。	
	(脳神経系臨床)	1	-	-	夏季休業中	集中		玉岡晃 松村明 他	神経系の総括講義を行い、これにより医師として必要な基本的臨床能力及び基礎的研究能力を身につける。	
	(代謝内分泌系臨床)	1	-	-	夏季休業中	集中		島野仁 原尚人 他	医学群総合カリキュラムの一環として、医師として必要な代謝内分泌の基本的臨床能力を身につけ、基礎研究にも触れる。	
	(腎泌尿器系臨床)	1	-	-	夏季休業中	集中		山縣邦弘 西山博之 他	腎泌尿器疾患の発症機序や病態生理の理解に立脚した診断法と治療法について学ぶ。	
	(診断治療学I)	1	-	-	夏季休業中	集中		櫻井英幸 川上康他	放射線診断・治療について基本的組織を統括する。また、検査医学についての基本的知識を総括する。	
	(診断治療学II)	1	-	-	秋A	集中		田中誠 井上貴昭 他	医学カリキュラムの最終段階のまとめとして、全身麻酔、局所麻酔、心肺蘇生、外傷、熱傷、中毒等についての基本的知識を整理し、急性期医療に携わる医師に必要な臨床能力を横断的・総括的に習得する。	
	(小児臨床)	1	-	-	秋A	集中		高田英俊 増本幸二 他	小児の成長発達、主要な小児疾患の診断治療、健診・予防接種など健康児の管理法について学び、小児科学の全体像を理解する。	
	(婦人・周産期臨床)	1	-	-	秋A	集中		濱田洋実 佐藤豊実 他	産婦人科学の知識と技能を改めて総合的に整理し総括する。	
	(人間集団医学)	1	-	-	秋A	集中		斎藤環 松崎一葉 他	人間集団の健康問題について、疫学、食品衛生、環境保健及びさまざまな領域(産業、母子、学校、成人、老人、精神)の保健、衛生統計、遺伝疫学、社会保障及び環境行政の政策と法規、リハビリテーション、医事法制の各領域にわたって総括し、医師としての社会的必須知識の仕上げを行う。	
(感染症)	1	-	-	秋A	集中		人見重美 他	医師として必須の感染症および感染管理に関する知識および能力を身につける。		
(医療総論)	1	-	-	秋AB	集中		山縣邦弘 檜澤伸之 他	医療における社会的・倫理的諸問題を取り上げ、医師としてのあるべき姿を考える。医と法、医の倫理と患者への対応、生殖医学、脳死と臓器移植、終末医療などを学び理解する。		
HB36163	医療概論V	3	2.0	6					地域医療の現場での実習を通して、地域の特性を生かした保健・医療・福祉・医療安全について学ぶとともに、附属病院での医療とは異なる地域医療の特徴とその魅力、職種間連携について学ぶ。	2020年度より開講 2019年度開講せず。
HB36173	M6クリニカル・クラークシップ (Phase IIB)	3	4.0	6					6年次に行うクリニカル・クラークシップ。	医学専攻対象 2019年度開講せず。 2020年度より開講
HB36183	M6アドヴァンスト・エレクトィヴズ	3	11.0	6	通年	集中		山縣邦弘 檜澤伸之 他		医学専攻対象 4/1-6/30
	(自由選択実習)	3	-	-	通年	集中		山縣邦弘 檜澤伸之 他	クリニカル・クラークシップの経験を踏まえ、自分の興味のある領域を選択してさらに理解を深めるとともに、将来のキャリア選択に役立てる。	医学専攻対象
	(海外実習)	3	-	-	通年	集中		平松祐司 他	原則として6年次春学期に、1~3か月の期間、海外の医療機関において特色ある臨床実習、公衆衛生、基礎医学研究等の実習を行う。4年次に「海外実習説明会」があるので受講することが望ましい。5年次の5月に、TOEFL、エッセイ、英語による口述試験等により可否を判定する。TOEFL iBT 80以上が必要。	
	(研究室演習)	3	-	-	通年	集中		高橋智 他	医学に関連する専門分野の研究室へ行き、実際の研究を体験することにより、医学研究の進め方を身につける。また、実地体験に基づいて教員と議論を深め、医学研究の考え方を習得する。	
HB36193	研究室実習	3	15.0	6	春AB	集中		高橋智 他	医学に関連する専門分野の研究室へ行き、実際の研究を体験することにより、医学研究の進め方を身につける。また、実地体験に基づいて教員と議論を深め、医学研究の考え方を習得する。	新医学専攻対象 4/1-6/30

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
専門外国語(医学対象)										
科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB37122	専門語学(英語)C	2	1.0	2-6	秋AB	応談		田宮 菜奈子	公衆衛生学の醍醐味を味わえる教材、ヘルスサービスリサーチ、地域医療福祉政策評価、国際保健関係のトピックから参加者の関心にあわせて読み、英語での討論・プレゼンテーションを行う。(外国人TAあり)	人数制限有り(8名程度)。木曜18:00~ 医学系学系棟821で実施
HB37142	専門語学(英語)E	2	1.0	2-3	秋AB	水6	4A409	メイヤーズ トーマス デイヴィッド	English Discussions on Medical Topics-In this class students will hold discussions on a range of medical topics in English. The emphasis will be on improving English speaking and listening skills and developing cross-cultural understanding and international medical professionalism.	
HB37162	専門語学(英語)G	2	3.0	3-6	通年	水1	4A103-1, 4A103-2, 4A103-3	田中 誠, 三輪 佳宏, 小金澤 禎史	United States Medical Licensing Examination (USMLE) アメリカ合衆国の外国医学部卒業生むけ資格試験受験をめざす医学生のためのクラス	人数制限有り(10名程度)
HB37222	専門語学(英語)M	2	1.0	2-6	秋AB	木6	総合研究棟 D713	柳 久子	Journal Watch (New England Journal of Medicine が2週に1回発行する医学論文のレビュー誌)を読んで最新の医学研究に触れる。	人数制限有り(4名~6名)
HB37232	専門語学(英語)N	2	1.0	2-4	春BC	集中	4A204	宮増 フラミア	IELTS Exam Preparation This course is for students planning to take the IELTS exam in preparation for application to study abroad or to participate in an overseas clinical clerkship. The focus of the course will be on improving students' abilities in the four skills tested at the Academic Module level: Reading, Writing, Speaking, and Listening. Students will also learn strategies for taking the exam.	6年次に海外実習を希望する者は、履修を推奨する。主に4年次生を対象とする。 7/1-7/31の間に実施予定 詳細な日程等は後日掲示する。
HB37242	専門語学(英語)O	2	1.0	3-4	春ABC	集中		メイヤーズ トーマス デイヴィッド, マティス ブライアン ジェームズ	This course focuses on giving students skills necessary to improve their TOEFL IBT score, practical advice, useful tips, and practice. We will cover the 4 key areas: reading, listening, speaking, and writing, but with special emphasis on listening and speaking. Another goal of the course is to build up the students' academic English vocabulary that they will encounter in a TOEFL IBT test.	全10コマ開講。詳細な日程等は後日掲示する。 英語で授業。 4/1-8/31の間に実施予定
HB37252	専門語学(英語)P	2	1.0	5	秋C	集中	4A409	マティス ブライアン ジェームズ	This course will teach the theory and actual protocols of modern molecular biology lab techniques in English. Nucleic acid (DNA/RNA) purification, PCR, Protein extraction and Western blots, plus solution chemistry will be taught. The main goal is to be able to discuss techniques entirely in practical, scientific English. No previous lab experience required. Written protocols will be provided.	新医学専攻は必修、医学類生に限る。 1/1-2/29の間に実施予定 詳細な日程等は後日掲示する。
HB37502	専門語学(ロシア語)	2	3.0	3-6	通年	水1		臼山 利信	予めロシア語の知識は必要としない。ロシア語の最初歩(文字と発音)から学習する。その過程で医学の分野における専門用語、簡単な専門的表現を学ぶ。	

専門科目(自由科目)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
HB31112	研究室演習	2	3.0	1	通年	随時	ゼミ室他	設楽 宗孝、高橋 智 他	興味のある専門分野の研究室へ行き、「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら、小グループで研究課題について討論したり、論文を抄読し、専門分野の理解力を高め、自分の考え方を磨く。また、週末・休暇を利用し、継続的に実験研究も行い、M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	
HB32102	研究室演習I	2	3.0	2	通年	随時	ゼミ室他	設楽 宗孝、高橋 智 他	興味のある専門分野の研究室へ行き、「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら、小グループで研究課題について討論したり、論文を抄読し、専門分野の理解力を高め、自分の考え方を磨く。また、週末・休暇を利用し、継続的に実験研究も行い、M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	
HB33112	研究室演習II	2	3.0	3	通年	随時	ゼミ室他	設楽 宗孝、高橋 智 他	興味のある専門分野の研究室へ行き、「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら、小グループで研究課題について討論したり、論文を抄読し、専門分野の理解力を高め、自分の考え方を磨く。また、週末・休暇を利用し、継続的に実験研究も行い、M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	
HB34112	研究室演習III	2	3.0	4	通年	随時	ゼミ室他	設楽 宗孝、高橋 智 他	興味のある専門分野の研究室へ行き、「研究」を体験する。医学研究の現場で教員と接しながら、小グループで研究課題について討論したり、論文を抄読し、専門分野の理解力を高め、自分の考え方を磨く。また、週末・休暇を利用し、継続的に実験研究も行い、M5以降の新医学専攻へ引き続いて進むことができる。	